

4. トラブルとその対応事例

4－1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

事象分類別（b. 漏えい）

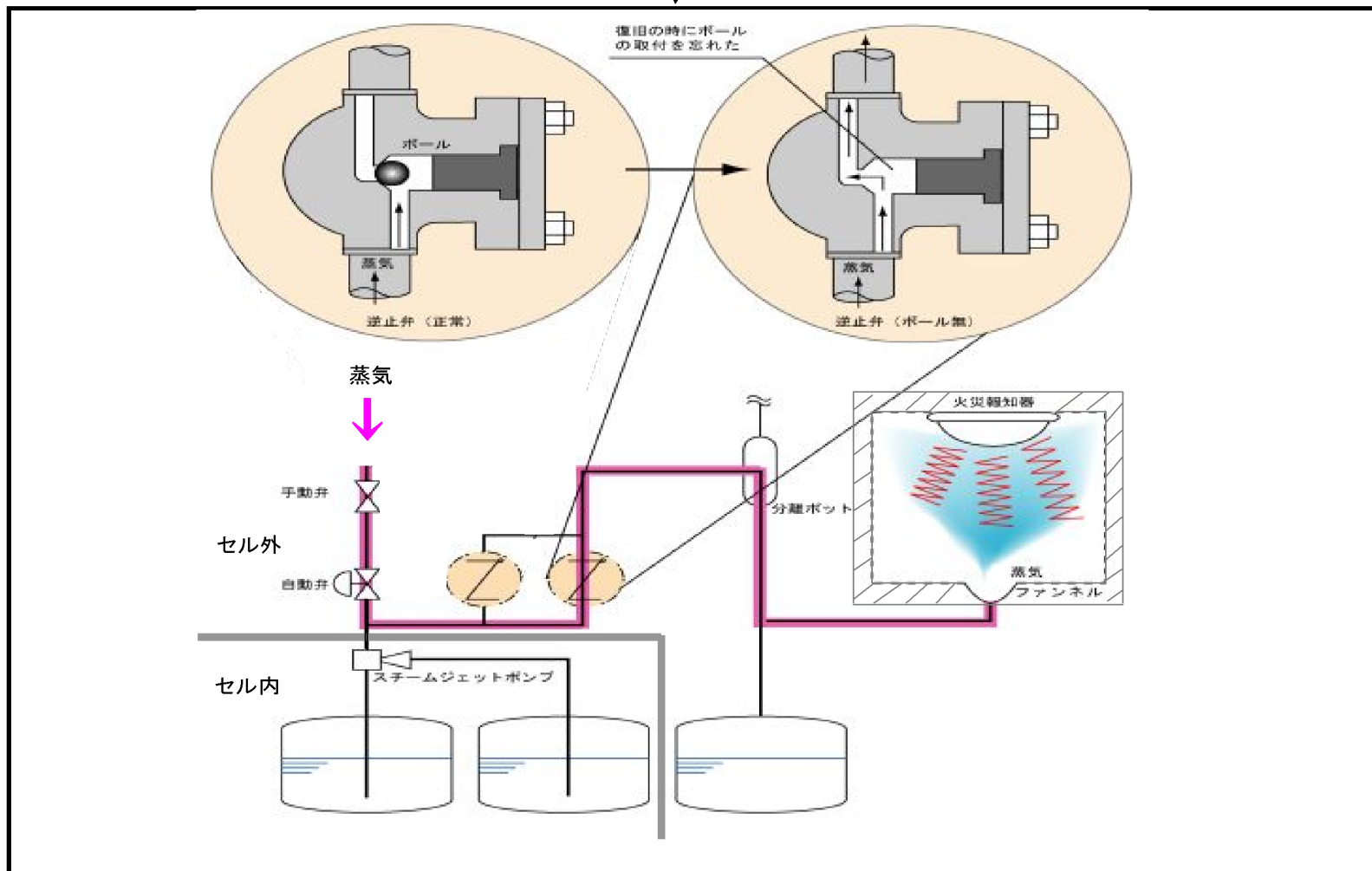
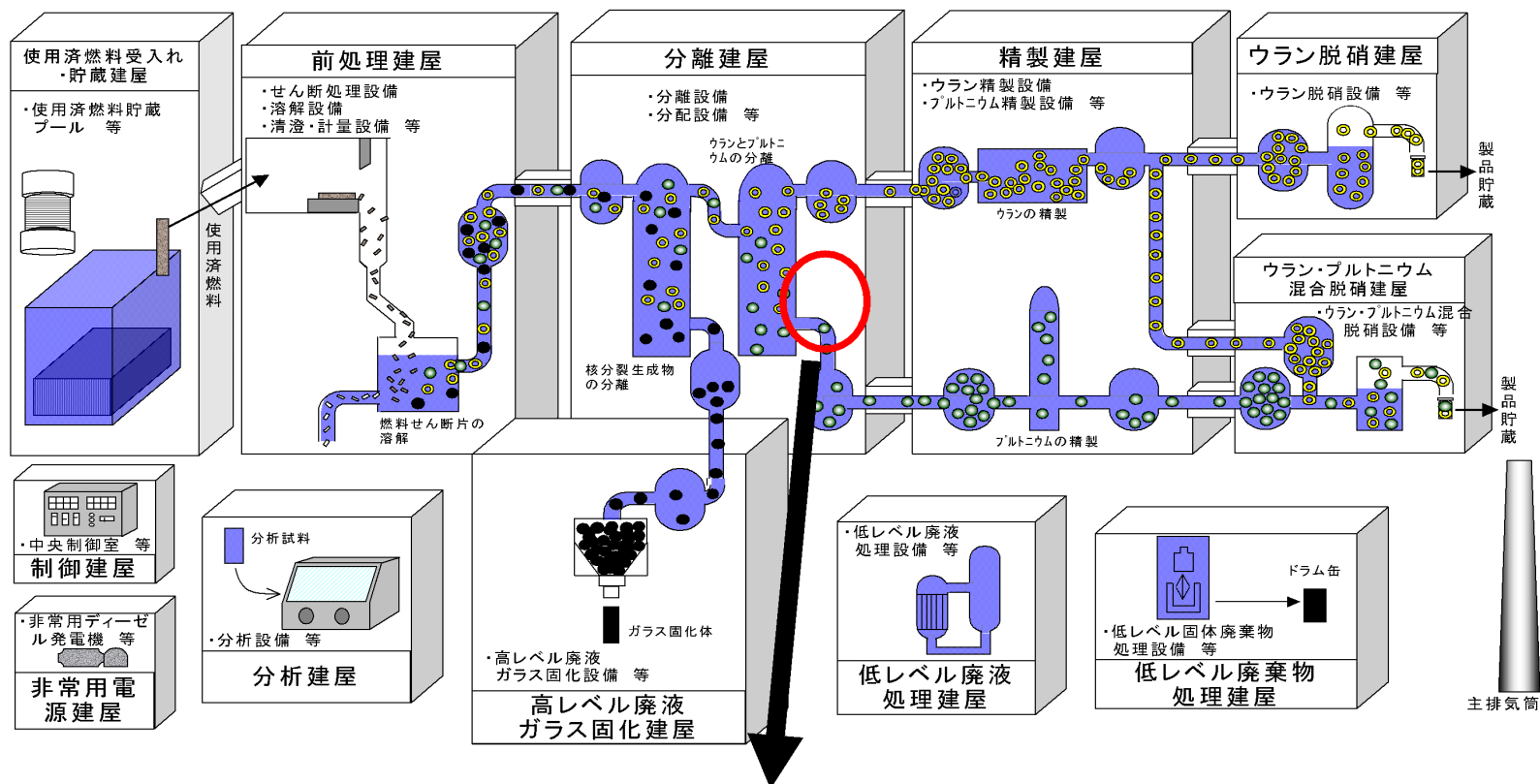
2-11. 逆止弁の内部構造物の復旧ミスによる蒸気漏えい

事象の概要																	
(1)発生場所：機器	分離建屋：第 1 酸回収工程																
(2)設備の概要	液体廃棄物に含まれる使用済硝酸を再利用するため、使用済硝酸を硝酸と水に分離し、硝酸を回収する設備。回収した硝酸を移送するために非放射性の蒸気を駆動源とするスチームジェットを使用する。																
(3)発生の状況	保守・点検後の確認運転中																
(4)概要	逆止弁の内部構造物（ボール）が無いことに気づかず、スチームジェットへ蒸気を通気したため、逆止弁で止まるはずの蒸気が分離ポットを介してファンネル（排水収集口）から噴出し、火災感知器が感知して火災警報が発報。（漏えい量は200L未満） *他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。																
(5)原因	弁の組み立て時に部品の一部を組み込み忘れた。																
事象による影響																	
(1)工場外への影響	工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する分離建屋の換気設備が稼働している室内での事象およびそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。なお、本事象は、スチームジェットを駆動するための非放射性の蒸気の管理区域内における漏えいである。																
(2)安全性への影響	安全上の問題は生じない。 逆止弁の内部構造物がないまま蒸気を通気した場合、分離ポットにて“温度高”警報が発報するため、操作員が蒸気の供給を停止することにより、これ以上事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。																
(3)作業員への影響	作業員への影響は生じない。 放射性物質を含まない蒸気の漏えいであり、放射性物質による汚染、被ばく等の影響は生じない。蒸気を扱う設備でのトラブルのため、作業員は火傷防止のための安全保護具等を着用し、定められた保守作業手順に従い作業を行うことで、作業員の一般災害を防止する。																
(4)他工程への影響	他工程への影響は生じない。 保守・点検後の確認運転中に発生した事象であるため、他工程への影響は生じない。																
対応の概要	1.火災警報が発報した区域の点検を行い、蒸気による作動であることを確認するとともに、実火災ではないことを確認する。 2.スチームジェットへの蒸気の供給を停止する。 3.定められた保守作業手順に従って逆止弁の保守を行う。 4.保守終了後、蒸気を通気させて逆止弁の作動確認を行い、異常のないことを確認したうえで、定められた操作手順により運転を再開する。																
公表区分	毎月集約して月 1 回公表（ホームページへ掲載）																
連絡区分*	<table><tr><th colspan="3">トラブル情報</th><th colspan="3">運転情報</th></tr><tr><td>A 情報</td><td>B 情報</td><td>C 情報</td><td>ごく軽度な機器故障</td><td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td><td>不適合等</td></tr></table>					トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報														
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等												

*：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

135

事象概要



復旧方法

定められた作業手順に従い当該箇所の補修により復旧

トラブル等に伴う設備への影響範囲

運転設備に影響なし

